



全国反戦青年委員会
全日本学生自治会総連合(伍代委員長)
東京都杉並区下高井戸1-39-4 3329-0165/0168
<http://www.zengakuren.info/>

反革命戦争突撃に向けた朝霞基地強化を許すな！

3月、日帝一防衛省は日本版海兵隊の異名をとる「水陸機動団」(長崎県・相浦駐屯地)と「陸上総隊」の新設—朝霞基地への司令部設置を同時に強行し、陸上自衛隊発足以来最大といわれる組織再編・強化に踏み込んできた。

「陸上総隊」は、五つの方面隊総監部(北部・東北・東部・中部・西部)がそれぞれ有していた所属部隊に対する運用権を一元的に統括し、陸自部隊のあらゆる展開を直接に指揮する。そして、陸自統合幕僚監部、すでに「自衛艦隊」、「航空総隊」による一元運用を開始している海・空自衛隊、米軍との連絡調整を一手に担うとされている。設立の目的が実戦を見据えた自衛隊三軍の統合運用、さらには米軍との連携強化にあるのは明らかだ。

陸自の「総隊制」への移行は、部隊運用の迅速化・効率化を強調する政府一防衛省(庁)内部で度々沸き起こってきた。しかし、戦前の皇軍参謀本部をほうふつとさせる指揮権限の一局集中に支配階級内部からも警戒の声があがり、頓挫を繰り返してきた。

安倍連合政府は、2013年の中期防衛力整備計画を闘の声に設立に向け突き進んできた。朝鮮

民主主義人民共和国(北朝鮮)や中国への排外主義をまくし立て、安保ガイドラインの改訂(15年)、戦争法の下での自衛隊出兵(16年)など、戦争突撃を強めながら新設をごり押しした。対朝鮮・中国—アジア反革命戦争突撃のための自衛隊再編・強化を許すな。MV22オスプレイや強襲揚陸艦を駆使する“殴りこみ部隊”=「水陸機動団」新設、それをも直属部隊とする「陸上総隊」新設を断じて許さず粉碎しよう。

本日の「総合予行」に続き10月14日、自衛隊中央観閲式が朝霞基地を会場に開催されようとしている。中央観閲式には毎回総理大臣や防衛閣僚が列席・閱兵し、帝国主義軍隊としての飛躍に向け自衛官を鼓舞してきた。改憲—9条への自衛隊明記に突き進む安倍の列席を許してはならない。

また、沖縄に配備されている在日米軍海兵隊所属のオスプレイが前回に続いて参加し、デモ飛行を行うことが予定されている。日帝の軍事力と日米同盟を内外に誇示するための反革命式典を許さず、戦争司令部として強化が進む朝霞基地の解体に向け共に闘おう。

訓練を再開した。こういう状況が常態化していくのだ。戦時態勢づくりの攻撃を許すな!

米軍や自衛隊など帝国主義軍隊にとって、闘う労働者人民の虐殺こそが主要任務だ。住民や人民の命を守るのではなく、戦争遂行のために徴発

・徴収をおこない戦場へと動員していく。その銃口はつねに労働者人民に対して向けられている。これは沖縄戦の歴史が明らかにしている。帝国主義軍隊=自衛隊・在日米軍解体・基地解体の実力闘争に共に決起しよう。

オスプレイ大量配備策動を粉碎しよう!

陸上自衛隊は、今年3月、陸上総隊(朝霞駐屯地)と共に佐世保相浦(あいのうら)駐屯地に日本版海兵隊といわれる「水陸機動団」を発足させた。創設目的が「南西諸島防衛の強化」すなわち、対中国、さらには対東南アジア諸国への戦争出撃にあることは明らかだ。そして、この部隊の専用使用のために佐賀空港へのMV-22オスプレイ配備がねらわれている。

佐世保では、陸自ヘリが墜落事故を繰り返すなか、住民や漁民の配備に対する怒りの声が強まっている。こうしたなか、佐賀空港配備予定のオスプレイの木更津駐屯地への暫定配備が策動されている。木更津駐屯地は、すでに整備基地としてオスプレイの飛来が強行されている。一方で、8月

には佐賀県知事が改めてオスプレイの受け入れを表明し、佐賀空港への配備推進を明言している。

陸自一防衛省は佐賀空港への配備をゴリ押ししながら、将来的には木更津駐屯地への配備をもねらっている。日帝のオスプレイ大量配備策動を断じて許すな。沖縄・佐世保・佐賀・木更津の闘いと連帶し、横田基地一日帝足下基地への配備を断固阻止しよう。

労働者人民を虐殺するための部隊を満載したオスプレイが住宅地、生活を営む街、都市の上を飛び放題となる。これこそが戦争へ向う姿だ。オスプレイ配備を阻止しよう!くるな!配備を止めろ!と声をあげよう。沖縄・辺野古新基地建設阻止の闘いと結びつこう!日米安保を粉碎しよう。

改憲・天皇代替わり攻撃と闘おう!

安倍政権は、労働者人民の怒りの声をことごとく押しつぶし、秘密保護法(13年)、安保法制(15年)、共謀罪(17年)、労働法制改悪(18年)を強行してきた。自民党総裁三選を果たした今秋、戦争・改憲に向けさらに拍車をかけようとしている。臨時国会で改憲発議を強行し、来春には国民投票を実施し、一気に改憲へ突撃しようとしている。激化する安倍の戦争・改憲一ファシズム攻撃と実力で対決しよう。

来年4月30日のアキヒト退位、5月1日メーデーに新天皇ナルヒト即位をおこない、労働者人民を動員し、賛美祝賀を強制させる。メーデーフブシの攻撃を断じて許さず、改憲攻撃と一体の天皇制強化の攻撃と対決しよう。血塗られた天皇制の歴史を賛美する10・23「明治150年記念式典」を粉碎しよう。天皇主義ファシストどもをな

ぎ倒し、差別と分断の根源=天皇制の廃絶に向け闘おう。

安倍は、天皇代替わりから東京オリンピック・パラリンピックへの過程を治安弾圧の一大飛躍点とし、戦争・改憲へと突き進み階級支配のファシズム的転換を一気に推し進めようとしている。激化する治安弾圧を粉碎し安倍政府を打倒しよう。

沖縄知事選から、辺野古新基地建設阻止の闘いが大きく燃え上がっている。三里塚・異議審結審を迎える中、市東さんの農地強奪一強制執行阻止の実力闘争が闘い抜かれている。福島原発被災労働者人民を先頭に、原発を廃炉へ、核廃絶の闘いがねばり強く闘われている。反革命革マル、反革命木元グループの敵対・破壊を粉碎し、労働者人民の実力の闘いとがっちりと結びつき闘おう!

反戦・反権力の砦=今秋三里塚決戦の爆発を! 10・14 全国総決起集会に決起しよう

10月14日(日)正午 成田市東峰・反対同盟員所有畠

主催. 三里塚芝山連合空港反対同盟